

郡山駅を取材中



街中の身近なユニバーサルデザインを リビング編集部が見つけていきます



郡山市UDキャラクター
「こころころ」

皆さんは、「ユニバーサルデザイン」をご存じですか？

ユニバーサルデザインとは、障がいの有無や年齢、言語、性別などの違いに関わらず、はじめからできるだけ多くの人が使いやすい製品や建築・都市環境、サービスなどの提供を目指す考え方。「Universal(すべての、みんなの)」と「Design(計画、設計)」を組み合わせた言葉で、頭文字を取り「UD(ユーディー)」ともいわれています。日常生活の中で当たり前前に使っているモノ、いつも利用している店や施設などにも、実はUDがあふれています。ユニバーサルデザインは、皆さんの優しさや思いやりをカタチにしたものと言えるかもしれません。

郡山市では、モノや施設の整備はもちろん、私たち一人一人の思いやりの気持ちが広がり、みんなが暮らしやすい街にしていこうと目指し、協働によるユニバーサルデザインの街づくりを進めています。地域を取り巻く環境の変化にも対応しながら、「周りの困っている人に気づき、思いやりを行動に」「UDを地域や暮らしの中に広げる」「継続し、つなげる」を考え方の基本に、取り組みを行っています。

新コラム「こおりやまUD探訪」わたしの街のユニバーサルデザイン」では、リビング編集部が、郡山市の熊田佳恵さんと共に「街中の身近なユニバーサルデザイン」を見つけていきます。

UDコラムに関する問い合わせは、郡山市市民部 市民・NPO活動推進課 ☎024(924)3471。



わたしの街の

ユニバーサルデザイン

ユーディー

こおりやまUD探訪

vol.1 JR郡山駅・郡山富田駅



PR

毎日たくさんの方が利用する JR 郡山駅、JR 郡山富田駅は、誰もが安全に・安心して利用できるよう整備されています。足元の黄色い点字ブロックは、視覚障がいのある方もひとりでスムーズに電車に乗ることができるよう工夫して配置されているそうです。さらに、券売機やトイレの近くでは、センサーが人を感知して音声案内が流れます。また、改札の1箇所が幅広くなっているのは新たな発見!! 車いすやベビーカー、荷物の多い方にもやさしい工夫ですね。

ほかにも、案内表示には日本語のほか、英語・中国語・韓国語もあわせて表記されていたり、ピクトグラム(絵記号)を使っていたりと、誰にでも分かりやすくという配慮がありました。皆さんの近くにも、こんな思いやりのカタチ、あるのでは? 楽しんで探してみてくださいね。



佐藤孝郡山駅長

幅広い層のお客さまに駅を快適にご利用いただくため、バリアフリー法に則りユニバーサルデザインを考慮した案内表示や、点字ブロック、エレベータ、エスカレータ、多機能トイレ等を整備したことにより、移動しやすい駅設備になっております。今後も郡山市の玄関口として相応しい「人にもやさしい駅」を目指して、駅で働く社員一同取り組んでまいります。



見やすいJR郡山駅の構内案内図